

質問書回答

2016年 11月 21日

「ニカラグア国みんなにわかりやすい中等数学プロジェクト」

(公示日:2016年 11月 9日/公示番号:160857)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	RDのPDMとPO	画像が不鮮明で小さい文字が読み取れないので、PDMとPOの鮮明なPDFデータを提供いただけないか。	PDFデータを共有します。
2	RD、業務指示書、導入研修計画文書に書かれているTEPCE講師について	RDと業務指示書にはTEPCE講師の人数は281名とある一方で、教育省の作成した導入研修計画文書では、全国レベル研修の対象者(TEPCE講師と理解)として全国120名が予定されている。研修の対象は120名と考えてよろしいか。また、研修内容立案のため、TEPCE講師の資格要件をご教示いただきたい。	国レベルの研修の対象は281名を想定しています。新たに教育省から提出された(8)導入研修計画文書(改訂版)共有します。TEPCE講師になるための資格については、プロジェクト開始後、教育省への確認事項とします。
3	活動3-3、数学指導法プログラムの共有活動及び教材の配布先について	業務指示書では、活動3-3、数学指導法講座のプログラム共有活動の対象として自治区のURACCANとBICUが想定されており、また、同大学への教材配布が計画されている(P.5)。詳細計画策定調査報告書(案)P45の表4.3効率性調査結果には、これらの大学がある自治区は国内他地域と使用言語が異なるためプロジェクトの直接裨益対象とないとあるが、使用言語が異なっても、URACCAN及びBICUを対象として(西語)教材の配布を行うか。	西語が公用語のため、URACCAN、BICUに対しても、(西語)教材の配布を行うものとします。
4	詳細計画策定調査報告書(案)P35~36	本案件は案件開始後約1.5年間の間に15の成果品を作成する計画となっているが、執筆者の大半はパートタイムであり、その勤務条件等がほとんど書かれていない。活動計画をたてるために、パートタイム執筆者の勤務時間、勤務曜	執筆者グループ候補者リスト(改訂版)を作成しましたので、共有します。成果3を担当する教官については、プロジェクト開始後、先方への確認事項とします。

通番	当該頁項目	質問	回答
		日等をご教示いただけないか。また、成果 3 を担当するとされている「執筆者グループ以外の教官」の人数や勤務形態等につきご教示いただきたい。	
5	業務指示書 P5、7-9 年生の教科書及び指導書の初等教員養成課程への配布について (別紙2:「費用負担及び印刷数早見表」を含む)	業務指示事項として、7-9 年生の教科書と指導書を 200 冊ずつ印刷し、全国の初等教育教員養成校へ所属する人数に応じて適切に分配するとされている。他方、PROMECM2 の終了時評価調査報告書(2015)によると、初等教員養成の学生は通常コースだけでも全国に約 2650 名が在籍しており、200 冊では学生(3 年生)4~5 人に 1 冊程度である。全国 8 教員養成校の(3 年生)1 学年分として少なくともそれぞれ 1,000 冊の印刷・配布が必要と考えるが印刷・配布数を増加して提案してもよろしいか。	現時点では、初等教育教員養成校に数冊ずつ配布することを想定し、教科書、指導書の配布数をそれぞれ 200 冊としています。200 冊での見積もりをお願いいたします。
6	別紙2:「費用負担及び印刷数早見表」 導入研修に係る教科書・指導書・生徒用学習帳の印刷について	R/D では、導入研修に必要な教科書・指導書・生徒用学習帳の印刷費は日本側負担と書かれており、国レベルの導入研修とは限定されていない。「費用負担及び印刷数早見表」では、導入研修で日本側が教材を負担するのは国レベル研修のみと書かれているが、一般教員を対象とした地方レベルの導入研修で使用する教材の印刷経費はニカラグア負担と考えてよろしいか。	全国的な普及・展開にかかる教科書、指導書、学習帳の印刷・配布費用は先方負担とすることで合意済みです。よって、一般教員を対象とした地方レベルでの導入研修にかかる教材印刷費は、先方負担としてください。

以上